



## 平成20年度 センター事業より



### ◎ 第1回小中生徒指導研修会（5月20日）

朝日中学校からの携帯電話やインターネットにかかわるトラブルの事例をもとに、協議をしました。朝日中学校では、「携帯電話を持たない・メールをしない・ブログやプロフを開設しない・書き込みをしない」という指導方針を職員が共通理解し、日々の指導に粘り強く取り組んでおられます。協議では、次のようなことを確認しました。

- ・ 各小学校においては共通した指導を模索していくのが望ましい。
- ・ 小中学校共に、正しい行動判断ができる児童生徒を育成する指導を目指す。
- ・ 情報モラルの形成には、小1～中3までの9年間を見通した町独自の指導計画が必要である。
- ・ 児童生徒に一時の対応としてかかわるのではなく、日ごろから「将来を見据えた指導」を心がけることが大切。

五箇庄小学校 土井美雪

5月18日（日）に教育再生懇談会から小中学生に「教育観点から携帯電話を持たせない」ということを明記することを報告書に盛り込むという内容が新聞発表された。数年前から、児童生徒が携帯のメールやブログ、ネットを利用して犯罪に巻き込まれていることを受け、携帯電話の有害情報や携帯を介した様々なトラブルから小中学生を守る対策として、今回の報告につながったようである。

第1回の研修会では、今話題になっている携帯の利用の仕方がからむ問題行動の事例研修が行われた。携帯のプロフやブログ、ネットから知らない人とのつながりができていることやメールを使ってのいやがらせや言葉の暴力が身近で起きていることに驚くばかりであった。事例から、今後学校がどのように児童生徒に指導を進めていけばよいか協議となった。問題点は明確なのだが、なかなか、指導内容や方法がまとまらない。その理由の一つに携帯を購入するのが保護者ということがある。児童生徒の人権意識や相手を思いやる心、危機管理への意識を高める指導だけでなく、保護者と共に児童生徒の利用の仕方の実態や携帯の弊害について考えることも必要と思われた。今年度は、携帯の所持や利用状況の把握とともに、一歩進めて、携帯等の弊害やブログやプロフ、掲示板の実情などの校内研修を行い、保護者と話し合う機会をもちたいと考える。

### ◎ 第1回小中高生徒指導連絡協議会

（5月27日）

講師：魚津警察署生活安全課 係長  
少年警察補導員 行政職員  
高野 桂子 氏

講話：「情報化社会の少年を取り巻く環境」



高野さんは、インターネットや携帯電話を利用した便利な生活が当たり前になっている昨今、教師は児童生徒に「便利さの裏の落とし穴」の部分を教える必要があると主張され、具体的な指導事項を例示してくださいました。児童生徒が被害者にならないためにも、「ルールを守ることは自分を守ること」だと児童生徒にきちんと伝えていくべきだ、とのことでした。各校の生徒指導主事の先生方のリードで、児童生徒への指導に反映されることを期待します。

### < 協議および情報交換から >

講話の後、各校から本年度の生徒指導上の重点目標とその取り組みについて情報交換を行いました。どの学校にも共通した重点は「あいさつ」や「言葉遣い」で、各校それぞれに工夫した取り組みが計画されていました。その他、「職員の共通理解と協働実践」「認め合う場やかかわり合う場の工夫」「教育相談」「研修会」「情報モラル指導」「基本的な生活習慣の徹底」「心得指導」など、各学校の実態に応じた特色ある取り組みが報告されました。また、各学校ごとに何かしら情報モラル指導に関する取り組みを実施し、2回目の会合においてその成果を持ち寄ることを確認しました。

朝日中学校 寺 西 泉

朝日町には、小学校、中学校、高等学校の生徒指導関係者が一堂に会し、児童生徒の健全育成について協議する会がある。異校種や家庭、地域社会等との連携を深め、地域ぐるみの生徒指導を推進する上で、とても重要な会である。第1回目の会合では、各学校から今年度の重点指導項目とその具体的な取り組みについての提案があった。児童生徒の実態等に応じた校種や学校ごとの特色ある取り組みもあるが、インターネットや携帯電話等、小・中・高が連携して取り組む必要性のある喫緊の課題もある。児童生徒の心身の発達等、教育上の配慮をしつつも、同じベクトルに向かって『凡事徹底』と『ブレない指導』を推進することの重要性を再認識した。

## 新任の先生を紹介します！

### ● パワーの源

朝日町立あさひ野小学校

養護教諭 上田 朋佳

私は、今年度4月から新社会人、新養護教諭として、あさひ野小学校でスタートしました。

着任して約2か月がたちますが、すべてが初めてのことばかりで、悩み、相談し、学ぶ毎日です。周りの教職員や地域の方々からたくさんのことを丁寧に教えていただいています。子どもたちの元気でキラキラした笑顔のあいさつが私にとって毎朝のパワーの源だと感じています。私が子どもたちからパワーをもらっているように、私からもパワーを与え、子どもたちが元気に楽しく学校に通えるよう支援していこうと思います。

朝日町の大自然の中でのびのびと子どもと共に学び、成長していけるよう頑張ります。



